

小田原城攻囲戦要図

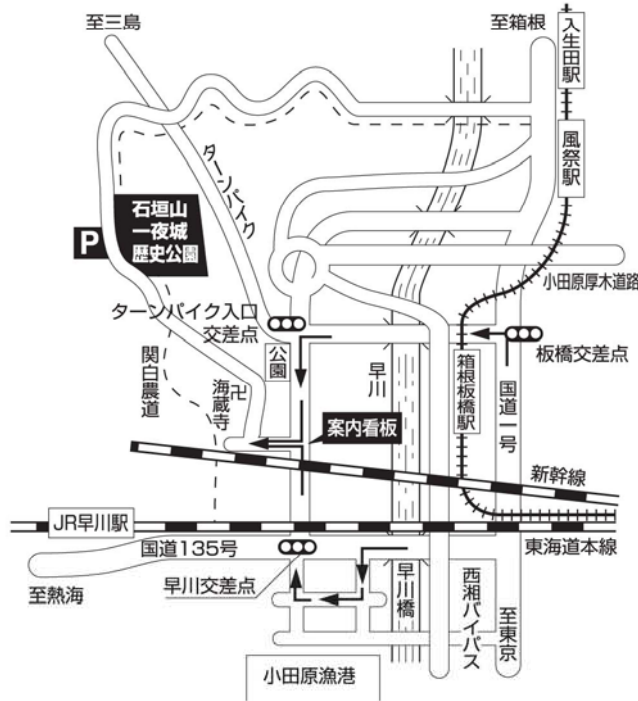


◀ 小田原城天守閣から、石垣山方面を望む
矢印のあたりが石垣山一夜城歴史公園



▼ 石垣山農道の中腹から
小田原城を望む

▼ 本丸物見台から、小田原城を望む



- ◻ 徒歩 JR早川駅から関白農道を経て徒歩約40分
箱根登山鉄道入生田駅から徒歩約50分
- ◻ 自動車 国道135号方面から
早川交差点を箱根方面へ
(小田原方向からは右折禁止なので注意)
- 国道1号方面から
板橋交差点をターンパイク方面へ
ターンパイク入口交差点を左折
- MAPCODE® 57 225 716*55

お問い合わせ

【小田原市観光課】

〒250-8555 神奈川県小田原市荻窪300
TEL 0465-33-1521
<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/>

【小田原市観光協会】

〒250-0014 神奈川県小田原市城内1-21
TEL 0465-22-5002
<http://www.odawara-kankou.com>

石垣山 一夜城 歴史公園



■石垣山一夜城

石垣山は、笠懸山(かさかげやま)と呼ばれていましたが、天正18年(1590)豊臣秀吉が小田原北条氏を水陸15万の大軍を率いて包囲し、その本営として総石垣の城を築いたことから石垣山と呼ばれるようになりました。この城が、世に石垣山一夜城又は太閤一夜城と呼ばれるのは、秀吉が築城に当たり、山頂の林の中に堀や櫓の骨組みを造り、白紙を張って白壁のように見せかけ、周囲の樹木を伐採し、それを見た小田原城の将兵が、一夜のうちに城が出現したと思ったという伝承によるものです。しかし、実際には延べ4万人が動員され、天正18年4月から6月まで約80日間が費や



■本丸(本城曲輪)、天守台

標高255~257m。面積およそ7,500m²で、最も広い面積を有する曲輪。この曲輪からの眺望は四方に開かれ、東北隅からは小田原城下、足柄平野、大磯丘陵、丹沢山塊、さらに相模湾から三浦、房総半島に至るまで一望できます。

この曲輪の南西部に天守台があり、標高261.5mで、当城中最も高い位置にあります。

■二の丸

芝生広場として整備してある二の丸は、本丸とならんで最も広い曲輪です。曲輪の中心部と北へ長方形に張り出した部分などからなっています。



されました。秀吉は、この城に淀君ら側室や千利休、能役者呼び茶会を開いたり、天皇の勅使を迎えたりしました。

この城は、関東で最初に造られた総石垣の城で、石積みは近江の穴太衆(あのおしゅう)(注1)による野面積(のづらづみ)(注2)といい、長期戦に備えた本格的な城造りであったと言えます。度重なる大地震に耐え、築城後400年以上経過した今日まで当時の面影が大変よく残されています。

(注1) 戦国時代に活躍した近江(現在の滋賀県)の石積み職人の集団。安土城や大阪城などの築城に携わる。

(注2) 自然の石を加工せずに積み上げる石積の手法。



■井戸曲輪

谷地形になるところをふさぎ止めるように周囲に石垣を積み上げて、その底に井戸を造ったものです。周囲に残る石垣は最も良く残っている場所で、一夜城の中でも白眉とも言うべき遺構です。



■場 所 小田原市早川字梅ヶ窪地内
■公園面積 約5.8ヘクタール

富士箱根伊豆国立公園 昭和11年2月1日指定
国史跡石垣山 昭和34年5月13日指定

